TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書（ダクト用・中間取付タイプ）

販売店・工事店さま用

形名
（1～3部屋用）
DVC-18M3
DVC-18MQ3

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

表　示	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
  また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

改造禁止	改造はしないこと 火災・感電・けがの原因になります。
分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしないこと 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

アースを接続する	**アースは確実に取りつけること** 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
接触禁止	**金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触しないこと** 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
取付禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には取りつけないこと** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
給気を確実に	**自然排気型ストーブがある部屋に据えつけるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
交流100V使用	**電源は交流100Vを使うこと** 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

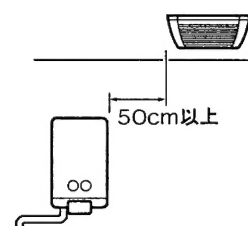
⚠注意

取付禁止	**浴室内には壁スイッチを取りつけないこと** 火災・感電の原因になります。
取付禁止	**炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取りつけないこと** 火災の原因になります。
確実に取りつける	**強度のある場所に確実に取りつけること** 落下により、けがをする原因になります。
確実に取りつける	**底板や部品は確実に取りつけること** 落下により、けがをする原因になります。
電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行うこと** 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

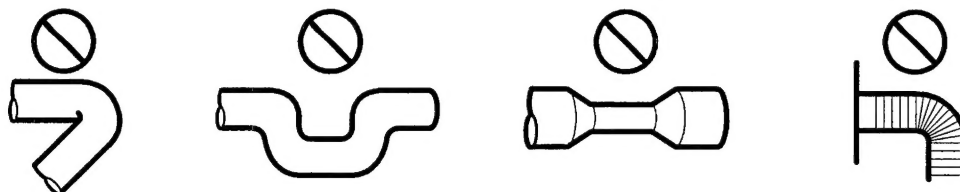
取付上のお願い

● 次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
   ①ガスレンジの真上
   ②ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）
2. 台所など油煙の多い場所
3. 腐蝕性ガスの発生する場所

● 製品の真下に点検口を必ず設けてください。

取付上のお願い（つづき）

●次のようなダクト工事はしないでください。

（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）接続ダクト径を極端に小さくする　（4）排気口のすぐ近くでの曲げ

●ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる恐れがあります。

●本体を断熱材で覆わないでください。
電源の接続が不完全な場合、漏電の原因になります。

●必ずドレン処理をしてください。

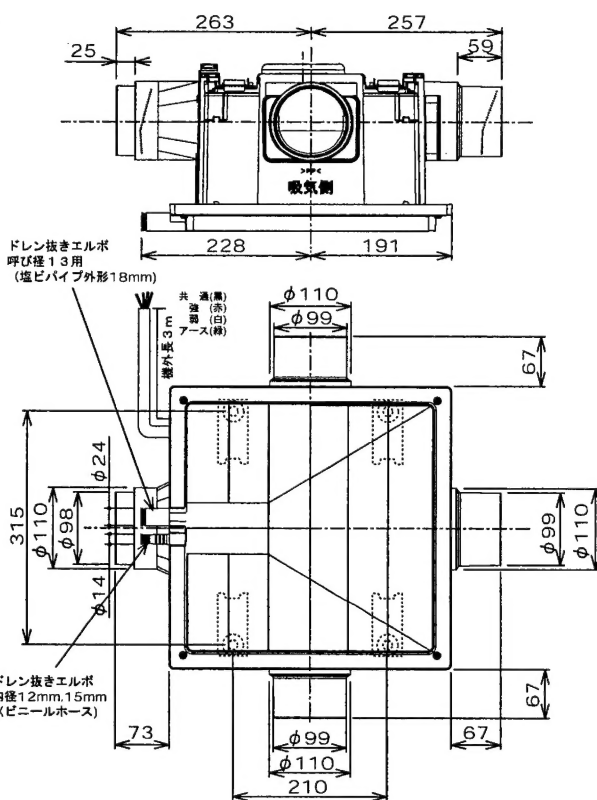
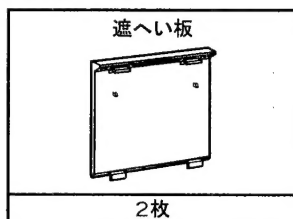
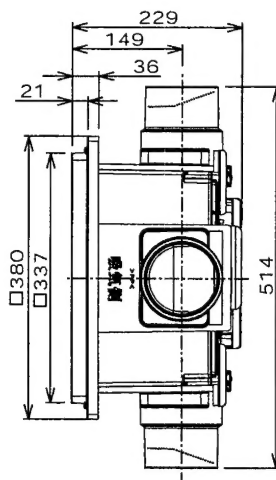
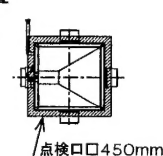
●ドレン皿に接続するドレンパイプを折らないでください。
結露水がたまります。

●地域によっては、樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

●共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。

●効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

製品寸法

付属品の確認をしてください

（単位mm）

取付方法

●取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

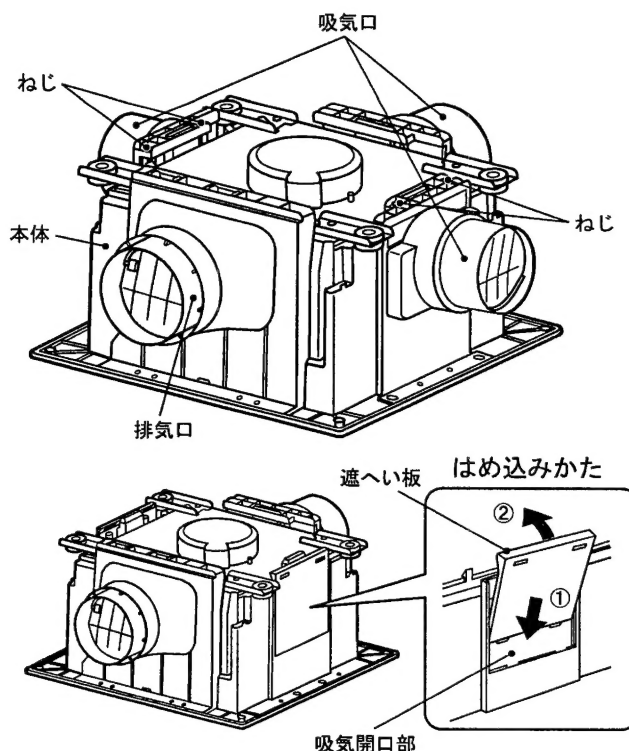
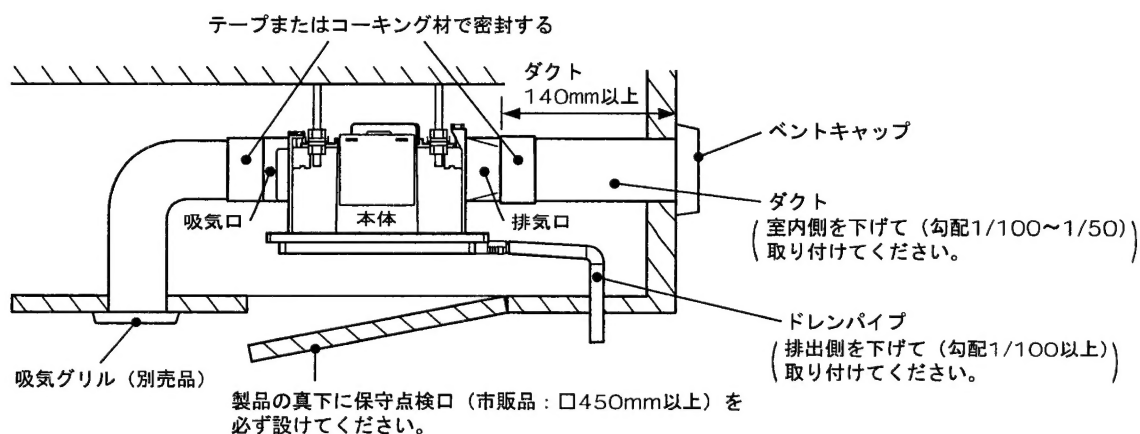
●取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋の着用をおすすめします。

取り付ける前に

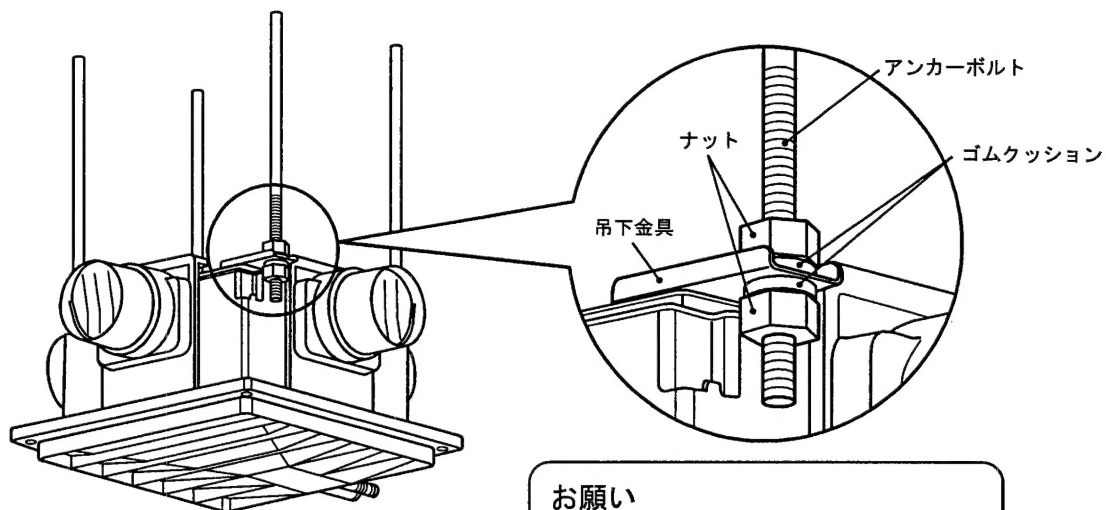
建物および部屋の配置により、取付位置・排気方向・吸気方向を決めてつぎの準備をしてください。

①出荷状態では吸気口（3ヵ所）は本体にねじ（2本）で固定されています。

②使用しない吸気口はねじ（2本）をはずし、本体からはずします。

③遮へい板（付属品）を本体に右図のようにはめ込みます。

取付参考図

1 本体取り付け

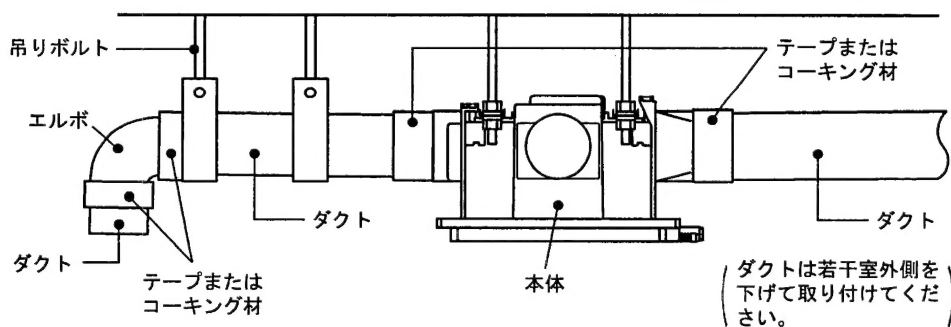
本体をアンカーボルト（市販品M8～M10）に取り付けます。

本体が水平になるよう吊下金具をアンカーボルトに取り付けてください。

お願い

ナットは確実に締めてください。

●ゆるみがあると振動、騒音、本体が脱落する原因になります。

2 ダクト取り付け

換気扇本体と吸気グリルの間をダクトで接続し、接続部をテープまたはコーキング材で密封します。

お願い

●吸気口やエルボにダクトの質量が加わらないように、吊りボルトなどで保持してください。

●エルボの吸気グリル接続側にも必ずダクトを取り付けてください。ダクトがないと吸気グリルが取り付けられません。

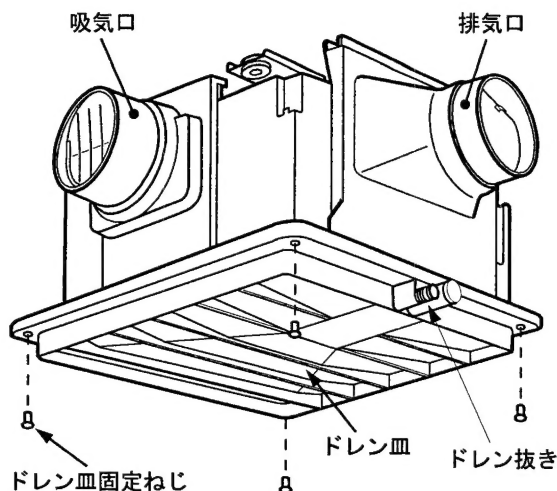
取付方法（つづき）

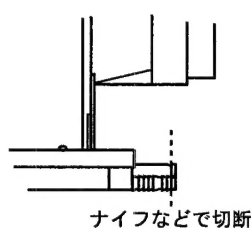
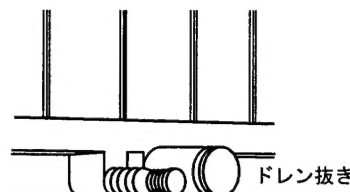
3 ドレン排出方向の設定

ドレン皿をはずしてドレン抜きの方向を設定します。
（出荷時は排気側に設定してあります）

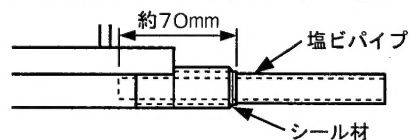
①ドレン皿固定ねじ（4本）をはずし、ドレン皿を
取りはずします。

②ドレン皿の方向を変更（4方向可能）します。

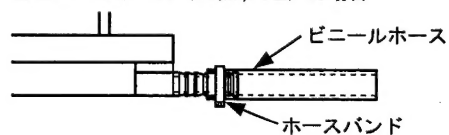
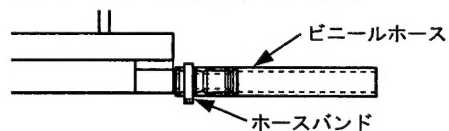
③ドレン皿固定ねじ（4本）で固定します。

4 ドレンパイプの処理

ドレンパイプはドレン抜きより低位置に配管し、水が溜まらないようにしてください。

硬質塩化ビニール（内径φ13）を使用する場合

①ドレン抜き先端をナイフなどで切断する。
②ドレン抜きの内側に塩ビ用接着剤を塗布します。
③塩ビパイプにも塩ビ用接着剤を塗布します。
④塩ビパイプの先端を約70mmドレン抜きに挿入します。
⑤接続部から水が漏れないように塩ビ用接着剤を塗布して
密封してください。

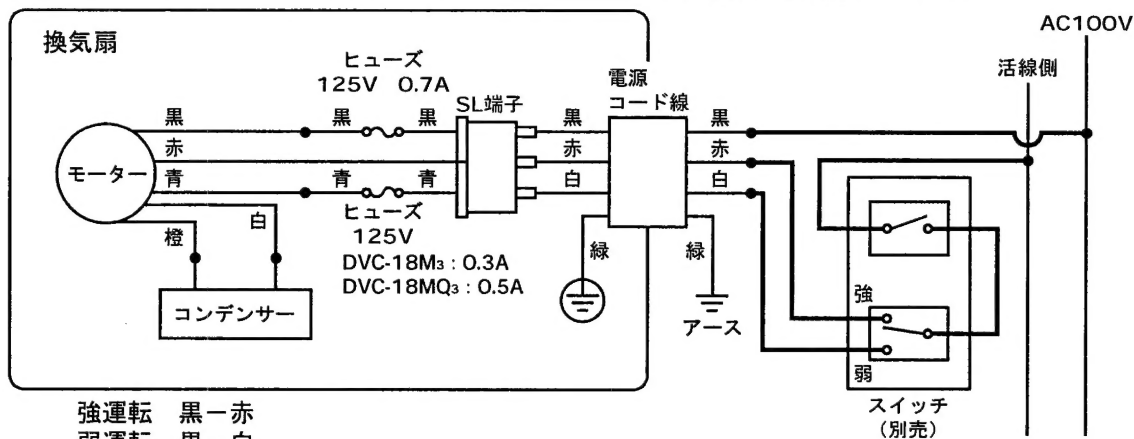
●硬質塩化ビニール（内径φ13）の場合

ビニールホース（内径φ12、15）を使用する場合

①ドレン抜き先端をナイフなどで切断する。
②ビニールホースを接続する。
接続部から水が漏れないようにホースバンド（市販品）
またはシール材（市販品）でビニールホースを確実に固
定して密封してください。

●ビニールホース（内径φ12）の場合

●ビニールホース（内径φ15）の場合

5 電源コード・アース線の接続

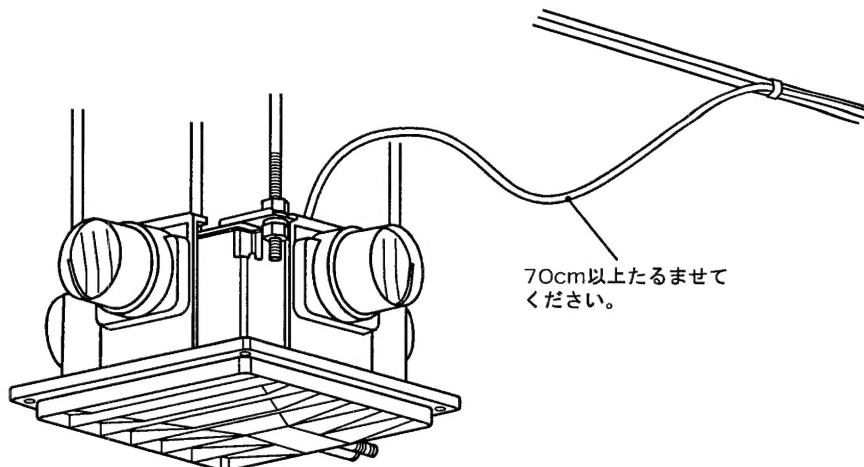
●結線図にしたがって正しく結線してください。
誤った結線をしますと、電流ヒューズが切れ、運転できなくなります。

結線図

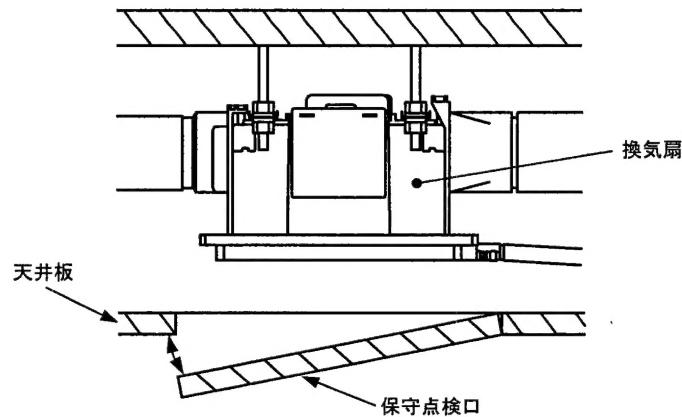
※太線部分を結線してください。

電気工事の誤配線によるモータ保護用としてヒューズが取り付けてあります。
ヒューズが切れたときは正しく配線した後、交換してください。
（ヒューズサービスコード DVC-18M3 : 41178133
DVC-18MQ3 : 41178074）

※建築基準法対応機械換気設備として設置される場合の壁スイッチは「換気システム用壁スイッチ」を使用するなど建築基準法に従って施工してください。

お願い

●スイッチは必ず活線側に取り付けてください。
●アース線は必ず接続してください。
●電源コード線およびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。

取付方法（つづき）

6 天井板の貼り付け

換気扇の真下に保守点検口（市販品：□450mm以上）を必ず設けてください。
（メンテナンスがおこなえません）

7 吸気グリル（別売品）の取り付け

●各部屋の風量調節をおこなう場合は風量調整板付吸気グリルをお勧めします。

●吸気グリルの施工方法は吸気グリルの取付説明書を参照してください。

●外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを取り付けてください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない、異常がないか確認してください。

●製品の取付強度が十分なこと。

●運転したとき異常音、異常振動がないこと。

●ドレンパイプが確実に取り付けてあること。

東芝キヤリア株式会社

ET99801001